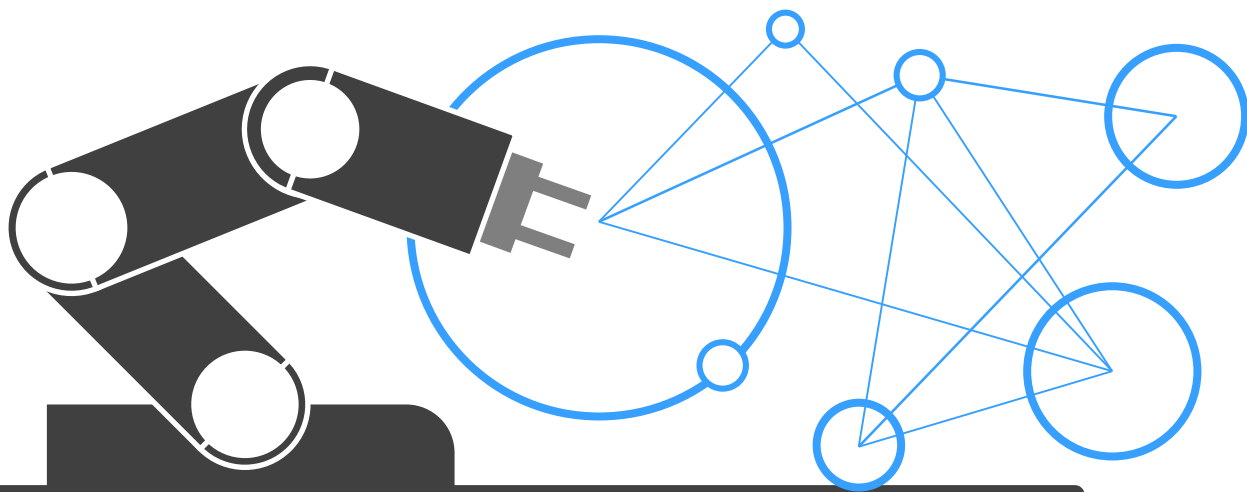


令和元年度山形県ロボットシステムインテグレータ育成事業

# ロボットシステムインテグレータ 育成研修

入門  
(営業技術)  
コース  
定員20名



## ロボットシステムインテグレータに求められる 導入プロセス「RIPS」と工程分析を学ぶ

産業用ロボット導入・構築にあたり大切なのは、導入を希望するユーザ側と、構築するロボットシステムインテグレータ（以下ロボットSler）側で、認識のズレなく合意形成することです。

経済産業省及び日本ロボット工業会では、工程や作成するドキュメントを標準化することで、作業の見える化や顧客との確実な合意形成を実現するための管理手法として導入プロセス標準「RIPS」を策定しています。本研修では、この「RIPS」について、産業用ロボットの最新動向を交えつつワークショップなどを通して実践的に学びます。また最適なロボット導入・構築のための工程分析手法についてもあわせて理解を深めます。ぜひ、受講ください。

日程：令和元年

7月24日(水)~25日(木)

受講料：

10,000円

申込み締切：令和元年

7月9日(火)

講師：

・ミツイワ株式会社  
・山形大学  
国際事業化研究センター  
シニアインストラクター

# ロボットシステムインテグレータ育成研修 入門（営業技術）コース 募集要項

目 的 製造現場に産業用ロボットを導入するために必要な能力や知識等を習得する研修を実施し、地域密着型のロボットシステムインテグレータ（以下ロボットSler\*）を育成することで、ロボット関連産業の振興とロボットによる県内ものづくり企業の生産性向上や人手不足対策の促進を目的とする。

（\*ロボットSler：ロボットを使用した機械システムの導入提案や設計、組立等を行う事業者。）

日 時 第1日 令和元年 7月24日（水） 9：00～16：30  
第2日 令和元年 7月25日（木） 9：00～16：30

会 場 山形県高度技術研究開発センター 研修室（山形市松栄2-2-1）

講 師 第1日 ミツイワ株式会社  
第2日 ミツイワ株式会社、山形大学国際事業化研究センター

受講対象  ロボットSler企業の担当者  
 FA・省力化装置製造企業等の担当者  
 ロボットSler事業への参入を考えている企業の担当者  
\*主な職種：営業技術、機械設計、電機設計 等

定 員 20名（応募者多数の場合は、1社あたりの応募人数の調整やお断りの連絡をさせていただきますのでご了承下さい。）

申込締切 令和元年7月9日（火）

受講料 10,000円

受講手続 別紙受講申込書をFAXしてください。（FAX：023-647-3139）  
後日、受講決定通知書と県の納入通知書をお送りします。

納入方法 受講料は、後日送付される受講決定通知書および県の納入通知書が届いてから、納入通知書を添えて所定の金融機関の窓口で納付ください。  
なお、納付いただいた受講料は、原則としてお返しできませんのでご了承ください。

修了証書 所定の課程（研修時間70%以上の出席）を修了した方には、修了証書が授与されます。

申込み・  
問合せ先 （公財）山形県産業技術振興機構 プロジェクト推進課 遠藤 大志/齋藤 洋  
〒990-2473 山形市松栄二丁目2-1  
（山形県高度技術研究開発センター内）  
TEL：023-647-3163 FAX：023-647-3139

＜ 本研修の受講にあたり、下記事項についてご承知ください ＞

1. 受講者が研修施設及び器具等を故意または重大な過失により破損した場合には、その損害については、賠償していただくこととなります。
2. 研修中に発生した一切の傷病については、県および機構は責を負いかねます。
3. 本事業は厚生労働省の雇用開発支援事業費等補助金を活用しており、事業の目標を設定し成果として報告する必要があるため、**研修実施後に次の項目について聴き取りを行います**ので予めご了承ください。  
・受講者名、受講者性別、年齢、セミナー受講日、受講企業への就職者名・性別・業種・就職年月日（対象となる就職者はロボット関連部署への配置された者）、ロボット導入件数及び台数。  
・調査期間は受講した年度から3年間（2～3回/年程度）。

# 入門（営業技術）コース 研修カリキュラム

月日	時間		内 容	講 師
7/24 (水)	9:00 ～ 12:00	RIPS 研 修	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業用ロボットの最新動向 業界動向、活用事例、今後の見通し、ロボットスキル標準など。</li> <li>●RIPS概論 プロセス標準のポイント。</li> </ul>	ミツイワ 泉貴史氏 深沢勝治氏 深瀬哲也氏
	13:00 ～ 16:30		<ul style="list-style-type: none"> <li>●見積仕様書 RIPSの最も重要な文書である「見積仕様書」の書き方。</li> <li>●RIPSワークショップ ロボットシステムのインテグレーションにおける課題について、グループディスカッションを行い、RIPSの理解を深める。</li> </ul>	
7/25 (木)	9:00 ～ 12:00		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヒアリング実習 仮想商談案件を使って、要件のヒアリングの実習を行い、RIPSの勘所を習得する。</li> </ul>	
	13:00 ～ 16:30	工 程 分 析	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ものづくりの流れ把握と工程分析の各種手法について演習を交えて学ぶ。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ものづくりの良い流れ</li> <li>2. プロセス分析</li> <li>3. IE（インダストリアル・エンジニアリング）手法による分析</li> <li>4. 改善策検討（演習）</li> </ol> </li> </ul>	山形大学 国際事業化研 究センター シニアインス トラクター 伊藤豊幸氏

《研修を受講される方へ》筆記用具と電卓を持参してください。



## 今後の予定

参加者は各コース毎に募集します。1コースのみの受講も可能です。

**専門  
(ハード設計)  
コース**

開催予定時期：9月／定員：15名／受講料：10,000円  
内容：ロボットハンドの設計技術や把持計画など専門的なスキルの習得を目指す。

**応用  
(ソフト設計)  
コース**

開催予定時期：11月／定員：15名／受講料：10,000円  
内容：ロボットの制御プログラムやセンサ対応能力などのスキルの習得を目指す。

令和元年度 公益財団法人 山形県産業技術振興機構における各種研修事業 概要

	コース名	研修概要	研修時期	日数	定員	受講料	
製造業技術者研修	1 産業用ロボット特別教育研修【終了】	産業用ロボットの操作方法や、操作で必要となる知識について、習得する。労働安全衛生法により、現場導入に必要となる、教示等の業務に従事する者に義務付けられている研修である。	5/28 5/29	2日	15	23,000	
	2 精密測定技術【終了】	精密測定の講義、ならびにマイクロメータの使い方・表面粗さなどの実習を行うことにより、精密測定技術の基礎を習得する。	6/5 6/6 6/7	2日	12	22,000	
	3 切削加工・研削加工技術【終了】	切削加工および研削加工について、講義および実習を通じて基礎的かつ実践的な技術力の習得を図る。	6/10 6/11 6/12 6/13	2日	15	24,000	
	4 食品の安全管理技術【募集終了】	食品製造における安全管理項目として重要な、①微生物検査、②異物鑑別、③アレルギー物質の検査、について基本技術の習得を目標とする。	6/18 6/19	2日	15	23,000	
	5 清酒製造技術	各県を代表する有力杜氏や技術者を招聘し、技術解説を行っていただくとともに、酒質の変遷や今後の市場動向等について学習する。	8/8 8/9 9/18 9/19 10/2 10/3	6日	32	23,000	
	6 食品の品質管理（庄内）	食品衛生法の改定により、原則すべての食品事業者が「HACCPに基づく衛生管理」計画を策定することが義務付けられる。本研修では、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理について、本県の支援制度を含めて講義と実習を実施する。	8/21 8/22	2日	12	23,000	
	7 品質管理	品質管理の考え方と実践を具体的な事例をととして学び、品質管理体制の構築の手法を習得する。	9/6 9/13 9/20 9/27	4日	32	24,000	
	8 プラスチック材料の射出成形と物性評価	プラスチック射出成形の基礎とプラスチック材料の熱的特性及び機械的特性の基本的な試験方法を習得し、プラスチック材料を利用する上での基礎的知識を学ぶ。	10/10 10/11	2日	15	23,000	
	9 信頼性試験と加速試験の基礎（置賜）	電子機製造業を中心に重要性が高まる「信頼性」について、その概念から、基本的な信頼性技法、品質トラブルを未然に防ぐための考え方、加速試験の種類とデータ解析方法、部品調達の留意点までを、置賜試験場の試験装置の紹介を交えながら学ぶ。	10/23 10/24	2日	12	23,000	
	10 異物解析技術入門	顕微赤外分光分析装置および超高分解能走査型電子顕微鏡を中心とした分析機器の原理や機能について、実際の装置の操作実習を通して学習する。また、分析に係る試料作成法や取得したデータの解析法等、現場で活用できる知識を習得する。	10/30 10/31	2日	12	23,000	
	11 製品設計・製造に役立つ金属材料学	工業製品の設計・製造に不可欠な材料について、鉄系材料を中心として基礎的な知識を習得する。また、強度試験、硬さ試験、組織観察等を通じて金属材料の評価方法を学ぶとともに、材料の特性と組織の関係等についても理解を深める。	11/7 11/8	2日	18	23,000	
人材育成研修	1 ものづくり産業マネジメント人材育成研修	企業の経営者のほか、管理部門リーダー、現場リーダー等を対象として、企業マネジメントや現場マネジメントに係る各種知識やスキルを習得するとともに、昨今の人手不足に対応するための生産性向上に向けた各種手法を習得し、参加者が自社における課題解決に対応する能力を高め、あわせて、新たに採用した社員を定着させるスキルを身につける。	10/2 10/9 10/16 10/23 10/29	5日	15	20,000	
成長分野参入人材育成研修	1 在庫管理研修【終了】	在庫管理の改善によるコスト低減の手法の習得を目指す。	5/28 5/29	2日	15	5,000	
	2 ものづくり人材初級研修	ものづくり産業の基本や産業人の心構えを学ぶことにより、社員の意識向上、離職防止を図る。	6/11 6/12 11/28	3日	15	7,500	
	3 生産管理研修	納期を見据えた製造工程の管理方法の習得を目指す。	7/17 7/18	2日	15	5,000	
	4 自動車関連研修	自動車関連の新製品開発に向けた知識の習得を目指す。	8/28	1日	15	2,500	
	5 生産改善研修	講義と現場実習を通して実践的な改善手法を学び自社の生産性向上を図る。	(一般)	10/8 10/18 10/25	3日	15	7,500
			(女性向け)	9/12 9/19 9/26	3日	15	7,500
	6 現場リーダー資質向上研修	県内企業において、部下の積極性・意欲を高められるよう現場リーダー層の指導力向上を目指した研修を実施し、企業の組織力の強化を図る。	11月	2日	15	5,000	
7 自動車部品ライブラリーの展示	自動車部品ライブラリーの展示及び部品貸し出しの実施【展示場所：山形県高度技術研究開発センター 玄関展示ロビー】	通年	-	-	-		
ロボットブレイクthrough	1 入門（営業技術コース）研修	ロボットシステムの導入プロセス標準「RIPS」の習得、並びに最適なロボットシステム導入に不可欠な工程分析、生産プロセス提案能力の習得を目指す。	7/24 7/25	2日	20	10,000	
	2 専門（ハード設計コース）研修	工業技術センターの協働ロボット仮想生産ラインを活用し、ロボットハンドの設計技術や保持計画など専門的なスキルの習得を目指す。	9月	2日	15	10,000	
	3 応用（ソフト設計コース）研修	工業技術センターの協働ロボット仮想生産ラインを活用し、制御プログラムやセンサ対応能力などより高度なスキルの習得を目指す。	11月	2日	15	10,000	

- ◆ お問い合わせ先 公益財団法人山形県産業技術振興機構技術部研修課  
〒990-2473 山形市松栄2-2-1 山形県高度技術研究開発センター内  
TEL : 023-647-3154 / FAX : 023-647-3139 / E-mail : info@ypoint.jp
- ◆ 募集案内および応募方法は、およそ1か月前に山形県産業技術振興機構ホームページ <http://www.ypoint.jp/> に掲載予定です。
- ◆ 研修内容及び研修時期については、講師の日程調整等により変更になる場合があります。